

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハグ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15世帯	(回答者数) 11世帯
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士の専門的分野での取り組みに対し個々の活動の中で身体強化等の取り組みや	本児の望む事や保護者様と話し合いながら個々の支援計画に沿った支援の取り組みを行っている。	綿密に話し合い個々の特性を理解し、部屋を分ける等して支援しやすい環境を整えている。
2	地域の方々の、ご協力もあり外での活動やイベントで色々な体験が安心して出来ている。	地域の方との交流でイベントや車で遠出をして期間限定のイベントに参加しています。 短期間にも外で活動も出来、周りに迷惑にならないようにルールも意識することで成長の繋がるよう工夫しています。	様々なイベントに参加、活動をする事で個々の強みを活かしながら失敗や成功体験を積み重ね生活スキルアップの向上を図る事が出来るよう取り組んでいます。
3	法人内で就労継続支援事業を展開しており、児童の将来を見据えた進路についても保護者や本児の希望に応じて情報提供を行う事が出来る。	社内会議等を通して、就労についての情報収集を行っている。 また、体験を通して本児の出来る事や保護者の将来へのイメージが付きやすい環境作りを行っています。	定期的に見直しをし各家庭と話し合いながらニーズに合った調整をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ひとり一人の支援の方向性がバラバラになってしまう時がある。	全体や個々での支援内容の話し合いを必要に応じて取り組む。	取り組みの中に時間を作り、最小限で済むように話していく。
2	支援の中でスタッフが今まで経験してきた事が活かされていない。	得意な分野、不得意な分野があるので、スタッフ同士で助け合いながら利用児にとって良い支援につなげていく。	個々に困っている事、こうした方がいい事など聞き取りを行いながら全体で運営しやすい方へ意識を高めていく。
3			